

一般社団法人日本看護系大学協議会 会員校
社員（代表者）各位

一般社団法人日本看護系大学協議会
高等教育行政対策委員会委員長 麻原きよみ



DNP (Doctor of Nursing Practice) コースに関する調査（5 分程度）ご協力をお願い

平素より日本看護系大学協議会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

米国における DNP は実践の最高学位（博士）と位置付けられ、DNP のプログラムは患者のアウトカムの改善と組織の変革、エビデンスを実践に実装する高度実践の看護リーダーを育成するものです。米国においては、2004 年～2023 年（19 年間）で約 73,000 人が DNP を取得し、433 のプログラムがあり、さらに 87 の新しい DNP プログラムが計画段階とされています（AACN, American Association of Colleges of Nursing）。

わが国で看護学分野の博士課程/博士後期課程を設置しているのは 137 課程、そのほとんどが研究者コースとなっています。日本の DNP コースは、米国の DNP コースの修了年限や資格取得有無などは制度上の違いがあるものの、近年、DNP コースを設置する大学が相次いでいます。2017 年度には聖路加国際大学、2023 年度には北里大学、2024 年度には国際医療福祉大学、2025 年度には亀田医療大学、愛知医科大学が設置しています。国内においても DNP コースにおいて、高度な実践力と研究能力を併せ持った看護管理者を含む高度実践者への期待、博士号を持った高度実践の変革者を養成することへのニーズが高まっています。実際に、米国や日本でも DNP 修了生の多くは実践で働いています（AACN, DNP シンポジウム 2023 資料）。わが国の高度実践看護師である専門看護師・NP（診療看護師, JANPU-NP）の直近の合計数は約 4,500 名であることを考えると、今後 DNP コース設置校が増えていくことが予想されます。

しかし一方で、そもそも DNP が何かわからない、開講したいが具体的なカリキュラムや設置方法を知りたいなど、会員校においても DNP に関する認識はまちまちだと推測されます。

そこで、会員校の DNP に関する認識や設置意思、必要とする情報等を把握し、JANPU として、日本における DNP の標準的な教育体制や具体的なカリキュラム等の検討を始めたいと考えております。

尚、JANPU 会員コードを入力していただきますが、調査結果報告書の公表にあたっては、回答校が特定されないことをお約束いたします。

本調査の回答作業は 5 分程度 で終わります。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

■回答方法：下記 URL の Google フォームよりご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/u4RFHXbRxKYgtUS7>

■調査対象/回答者：JANPU 会員校の 社員または看護学教育に一定の責任を有する立場の教員 1 名

■回答期限：2025 年 7 月 25 日（金）

■調査票の質問項目一覧：調査票の質問項目は次のとおりです。ご参照ください。

<https://www.janpu.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/DNPsurvey.pdf>

＜お問い合わせ先＞ ※可能な限りメールでご連絡ください。

一般社団法人日本看護系大学協議会 事務局

E-mail: survey@janpu.or.jp